

2024 年 9 月 18 日

オリンパス、経皮内視鏡的胃ろう造設術用デバイス
「イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）」を発売
手技の安全性の向上をサポートし、患者さんの苦痛軽減に貢献

[オリンパス株式会社](#)（以下、オリンパス）は、体外から胃に直接栄養を送るための胃ろうを造設するデバイスである「イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）」を、2024 年 9 月 18 日から国内で発売開始します。

経皮内視鏡的胃ろう造設術（PEG [ペグ]：Percutaneous Endoscopic Gastrostomy）とは、口から食事を取れない、あるいは飲み込むことが困難な患者さんの胃に直接栄養を送るため、内視鏡を用いて体外と胃をつなぐ小さな穴（胃ろう）をつくる手技です。今回発売する「イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）」により、2023 年 6 月に交換用として発売開始したカテーテル「[イディアルボタン Z E R O](#)」を胃ろう造設時にもシース^{※1}を介して留置することが可能となります。そのため、カテーテルの交換時だけでなく、胃ろうを造設する際にも独自の低侵襲設計を採用した「イディアルボタン Z E R O」を留置できるようになり、患者さんの苦痛軽減、医療事故リスクの低減に貢献します。

製造販売元は S B カワズミ株式会社です。

※1 体外と胃をつなぐトンネル状の空間を確保する管状のデバイス



イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）

■ 発売の概要

製品名	発売予定日
イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）	2024 年 9 月 18 日

< 本件に関するお問い合わせ先 >

- 報道関係の方：オリンパス株式会社 コミュニケーションズ 湯浅
TEL：070-3923-6064 メールアドレス：Global-Public_Relations@olympus.com
- ホームページ：<http://www.olympus.co.jp>

▪ 主な特長

1. 独自の低侵襲設計を採用した「イディアルボタン Z E R O」で胃ろうの造設からカテーテル交換までの一貫した管理が可能に
2. シースを介してのカテーテル留置により、安心・安全な手技をサポート

▪ 発売の背景

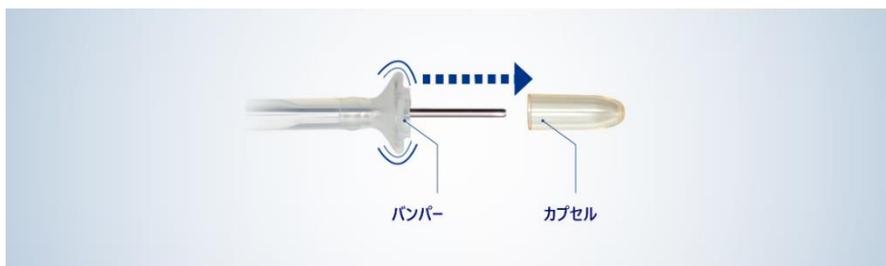
近年、高齢化に伴う脳血管障害や神経疾患などを始めとして、食事を口から取れない、あるいは飲み込むことが困難な患者さんが増えています。PEG は、そのような患者さんが必要な栄養を摂取し生命を維持するだけでなく、再び自力で食事をするためのリハビリにも重要な役割を担っています。また頭頸部がん治療における支持療法としての適用も拡大しています。いずれも、PEG によって十分な栄養摂取が可能なることにより、体力、免疫力を落とさず治療に専念することをサポートします。

今回、「イディアルシース PEG キット（イディアルボタン Z E R O）」を発売することで、カテーテルの交換時だけでなく、胃ろうを造設する際にも独自の低侵襲設計を採用した「イディアルボタン Z E R O」を留置できるようになります。これにより、PEG を必要とするより多くの患者さんの苦痛軽減、治療・回復に貢献することを目指しています。

▪ 主な特長の詳細

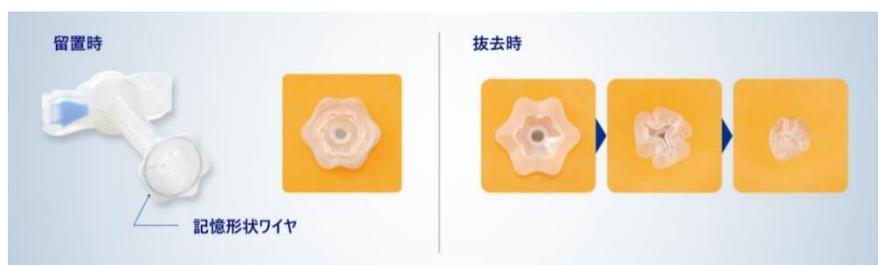
1. 独自の低侵襲設計を採用した「イディアルボタン Z E R O」で胃ろうの造設からカテーテル交換までの一貫した管理が可能に

「イディアルボタン Z E R O」は、従来に比べて手技の安全性をさらに高める独自の設計を実現しています。通常カテーテルは留置時の意図しない抜去を防ぐため、先端のバンパー（胃内部ストッパー）が挿入ルート（ろう孔）よりも大きくなっていますが、「イディアルボタン Z E R O」は、バンパーをカプセルに収納する独自の構造にすることで、スムーズな挿入をサポートし、腹腔内誤挿入のリスク低減に寄与します。挿入後はカプセルを胃内に脱落させバンパーを展開することで、カテーテルを留置します。



バンパー展開イメージ
カプセルは胃内で溶解する素材でできている。

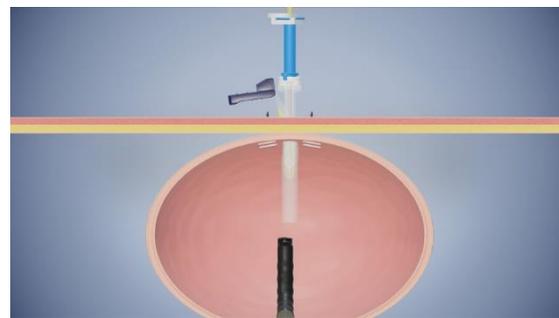
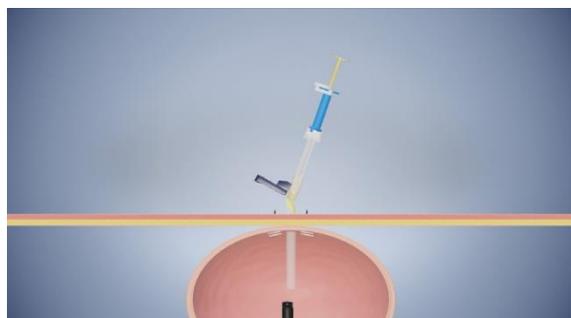
また、「イディアルボタンZERO」は、独自の技術により、シリコンの膜と形状記憶ワイヤのリングにより形成したバンパーを採用しています。これにより、留置時は形状記憶ワイヤのリングが展開していることにより意図しない抜去を防ぎ、交換時にカテーテルを抜去する際には、形状記憶ワイヤを先に引き抜くことでバンパーにはシリコンの膜のみが残ります。シリコンの膜は折り畳まれた状態で回収できるため、カテーテル交換時の患者さんの苦痛軽減に寄与します。



左：留置時のバンパー
右：抜去時のバンパー

2. シースを介してのカテーテル留置により、安心・安全な手技をサポート

本製品にはシースが含まれています。シースを介してカテーテルを対外から胃の中に挿入をすることで、腹壁と胃壁の隙間に空気が入ってしまうことや胃壁が裂けてしまうなどのリスクの軽減をサポートし、より安心して安全な手技に寄与します。



左：シースにより、体外と胃をつなぐトンネル状の空間を確保するイメージ図
右：シースを介して、カテーテルを対外から胃の中に挿入するイメージ図

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。

オリンパスについて

オリンパスは「私たちの存在意義」として掲げる、世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を目指しています。世界をリードするメドテックカンパニーとして、私たちは医療従事者の方々と共に、病変の早期発見、診断、そして低侵襲治療に役立つ最適なソリューション・サービスの提供を通じて対象疾患における医療水準の向上に貢献してまいります。創業から100余年、オリンパスはこれからも世界中のお客様に最適な価値をもたらす製品を提供することで、社会への貢献を目指します。詳しくはオリンパスの公式サイト (www.olympus.co.jp) ならびにX ([@Olympus_Corp_JP](https://twitter.com/Olympus_Corp_JP)) をご覧ください。

